

広島大学法科大学院

法 律 科 目 試 験

[憲法]

2024年1月13日(土)

13:00~14:00

注 意 事 項

- 1 ページ数は、表紙を除いて、1 ページです。
- 2 問題は1問、解答用紙は2枚、下書用紙は1枚です。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に横書きで書いてください。罫線外及び裏面

〔憲法〕（８０点）

A市のB地区には、同市の所有する土地甲（以下「本件土地」という。）がある。本件土地の上には、地域の集会場であるB会館（以下「本件建物」という。）が建てられており、本件土地の一角には神道における神を祀るB神社（以下「本件神社」という。）の^{ほこら}祠（神を祀る小規模な殿舎）が設置され、本件建物の外壁には「B神社」との表示が設けられ、また、本件土地には、鳥居が設置されていた（これらの「祠」「神社の表示」及び「鳥居」を併

広島大学法科大学院

法 律 科 目 試 験

[刑法]

2024年1月13日(土)

14・25～15・25

〔刑法〕（８０点）

次の【事例】及び【見解】を読んで、（１）及び（２）に答えなさい。

【事例】

飲食店を営むXは、住み込みの従業員Aが逃げ出したので、連れ戻すために行き先を探したところ、B方にいることが分かった。Xは、タクシーを拾って運転手CにB方を經由してX方まで行くように注文した上でB方前まで行き、B方から出てきたAに声をかけ、「入院しているお母さんの容体がよくないそうだ。早く行こう。タクシーで迎えに来た。」と嘘を言った。Aの母親は実際に甲病院に入院していたため、Aは気が動転してXの言うことを信じ込み、タクシーに乗り込んだ。XはCに発車するよう言った。

Cが運転するタクシーがB方前から１５キロメートルほど時速４５キロメートルで走行

れたことに気づき、Cに停車を求めた。これに対して、XがCに「止まらず行ってくれ。」と言ったので、Cは措置に迷いタクシーのスピードを時速約２５キロメートルに減じたまま進行した。Aは前記交差点から約３００メートル付近で走行中のタクシーから飛び降り

広島大学法科大学院

法 律 科 目 試 験

[民法]

2024年1月13日(土)

15:50~17:10

〔民法〕（１００点）

第１問（２５点）

２０１８年５月１日、Ａは、Ｂから２０００万円の借入を受け（弁済期は２０２３年４月３０日。以下「本件債務」という。）、その担保のためにＡ所有の甲地及び同地上の乙建物の双方に共同抵当権を設定し、その旨の登記が行われた。

２０１９年７月７日、Ａは乙建物をＹに売却し、乙建物についてＹ名義の所有権移転登記が行われた。また、同日、甲地について期間２０年の賃貸借契約がＡ、Ｙ間で締結され、現在

に至るまでＹが乙建物を占有し居住を続けている。

２０２３年５月２５日、Ａが弁済期までに本件債務を弁済できなかったことから、Ｂは甲地の抵当権を実行した。この結果、Ｘが甲地を競落し、甲地の新所有者となった。

ＸがＹに対して、甲地の所有権に基づいて乙建物の収去及び甲地の明渡しを求めた場合、Ｙは、Ｘの請求を拒むことができるか、理由を付して解答しなさい。

第２問（２５点）

自動車販売業者Ｘは、Ｙとの間で新車甲の売買契約を締結した。その際、甲の売買代金は毎月の分割払で支払うこと、甲の所有権は代金完済時にＹに移転し、それと同時に甲の所有者登録名義をＹに移転することが合意された。